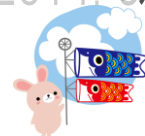


家畜衛生 いずも

H26年度 No.1

2014. 5月



島根県東部農林振興センター出雲家畜衛生部(出雲家畜保健衛生所)

〒699-0822 出雲市神西沖町 918-4 TEL(0853)43-7900 FAX(0853)43-2801

★家畜衛生部長 あいさつ～新年度にあたって～

皆様には日頃より家畜衛生行政にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

さて、平成 25 年度は、国内において口蹄疫(FMD)の発生もなく、また、高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)についても平穏無事で、新年度を迎えたと思った矢先に、熊本県における HPAI(H5N8 亜型)発生の一報が入り、直ちに管内の養鶏農家に注意喚起するとともに、異常鶏の発生が無いことを確認し、改めて家畜伝染病予防に油断は大敵であることを痛感いたしました。

一方、法定伝染病ではないものの豚流行性下痢(PED)が全国的に猛威を振るっており、管内では昨年度末より牛 RS ウイルス病が散発し、予断を許さない状況が続いています。

このような状況の中、家畜衛生部が担う「伝染病の発生予防と蔓延防止」、「安全な畜産物を提供する生産現場への支援」の役割はますます重要となっており、農家の皆様におかれましても、すでにお示ししています「飼養衛生管理基準」を遵守し家畜伝染病の侵入防止に万全を期していただくとともに、今年度も引き続き当部が実施します各種衛生検査、伝染病の発生を想定したまん延防止対策等にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。(品川)



家畜衛生部長 品川 雄太

★平成26年度 職員紹介



家畜衛生課

課長 矢田 恭一
主幹(庶務) 後藤 幸子
主任獣医師 高橋 優
獣医師 尾崎 優
獣医師 森山 くみ子 (獣医師 原 登志子:育休中)



防疫業務課

課長 前原 智
主任獣医師 土江 將文
主任獣医師 廣江 朋子
嘱託職員 石飛 幾久世

酪農 はじめました



平成26年4月、雲南市木次町にある尾原ダムを望む丘に、真新しい牧場がオープンしました。牧場の主は大石亘太さん30歳。

大石さんは、松江市出身で、広島を卒業後、山口県の畜産団体に就職されました。

その後、理想の牧場経営のために退職、雲南市木次町にある日登牧場で2年間研修され、夢の実現のために着々と準備され、本年4月に新規就農されました。現在の飼養頭数は乳用牛22頭で、開放的なフリー

バーン牛舎で飼養されています。将来的には35頭まで増頭し、周辺の山野への放牧も検討されています。

また、牧場を教育の場として開放し、地域の子供たちに酪農体験を通じて「食や命の大切さ」を学んでもらうことを目的に誕生した、「酪農教育ファーム」の認証も取得され、こうした活動を通じた地域貢献にも積極的です。地域の酪農をリードしていく、期待の新人です。

(高橋)



★家畜の医学 ～第1回 牛RSウイルス病～



平成26年3月下旬から5月初めに、出雲市の牛飼養農家9戸で牛RSウイルス病が相次いで発生しました。本病は家畜伝染病予防法に基づく『家畜伝染病』や『届出伝染病』ではありませんが、**急性熱性伝染病**で、寒い時期に多く、重症牛も多発する傾向にあります。原因、症状、対策は以下のとおりです。

原因 ウイルス。潜伏期は2～7日で鼻水や咳などのしぶきにより伝染。伝染力は強！

症状 発熱 (39.5～41.5℃)、咳、鼻水、よだれ、涙、呼吸が速い、ゼーゼーという呼吸。

治療 二次感染を防ぐための抗生物質投与など。特効薬はありません。

- 対策**
- 導入牛や病牛の隔離飼育と観察
 - 農場への人や車輛の出入りの制限
 - 農場出入り口への**踏み込み消毒槽**の設置
 - 牛舎の**清掃・消毒**の実施
 - 牛**呼吸器病ワクチン**の接種

消石灰による効果的な消毒方法
 踏み込み槽: 水 10Lに消石灰を 100～200g
 農場入口や牛舎周囲: 消石灰 0.5～1kg/m²

“飼養衛生管理基準”を守ってね！



泡のようなよだれ

消毒はRSウイルス病以外の病気の予防にもなります。

日ごろから牛舎に消毒槽を置いて、病気の侵入をブロックしましょう！

(廣江)

★全国で豚流行性下痢(PED)の流行が拡大しています！

豚流行性下痢(PED)は、2013年4月に米国オハイオ州で発生して以降、急速に発生が拡大しました。

日本でも2013年10月に沖縄県で発生し、南九州を中心に発生していた豚流行性下痢(PED)の流行が現在拡大しています。

平成26年5月9日現在で報告されている発症頭数は46万頭以上で、死亡頭数は哺乳豚を中心に10万頭を超えました。

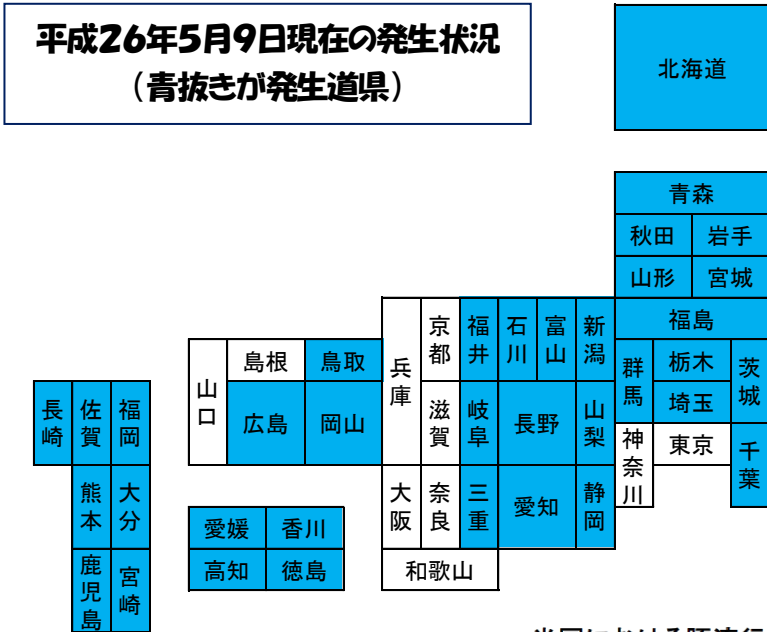
発生県は37道県に及んでおり、過去に例を見ない全国的流行と言えます。

予防策としてのワクチン接種が有効ですが、消毒等の徹底による病原体の侵入阻止も重要です。飼養衛生管理基準の遵守により、衛生管理区域を明確にし、区域内に出入りする車・人・物は最小限とし、消毒は徹底的に行いましょう。

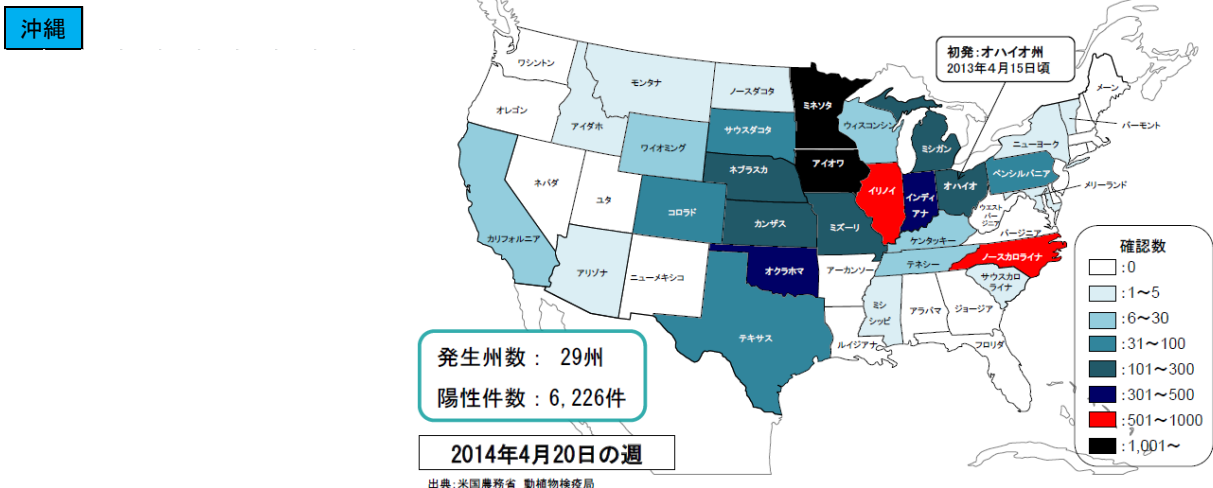
導入を行う際は、導入元周辺の流行状況を把握し慎重を期することが肝要です。（土江）



PED発病哺乳豚



米国における豚流行性下痢(PED)の発生状況



★放牧検査を実施しています

公共放牧場や共同牧場(林間、転作田・耕作放棄地を含む)で放牧する牛に対して、放牧後に血液検査や健康チェックを実施し、放牧場における伝染病の伝播防止や放牧事故の低減を図っています。

検査する項目：ピロプラズマ病・牛白血病・牛ウイルス性下痢粘膜炎(BVD) など

放牧中は、毎日の観察と、ピロプラズマ原虫を媒介するダニの寄生予防などの衛生対策を行います！！

検査を希望される場合は、**放牧場の窓口(役場やJA等)**にご連絡下さい。(尾崎)

★5条検査のお知らせ～今年度は雲南市と奥出雲町です！～

本年度も家畜伝染病予防法第5条に基づき、雲南市と奥出雲町の搾乳牛を対象に結核病・ブルセラ病・ヨーネ病の検査を行います。いずれも発生すると農場に甚大なる打撃を与える疾病です。実施時期は6月を予定しております。スムーズな採材作業を心掛けますので、生産者の皆様や関係機関の方々におかれましては何卒、御協力の程お願い申し上げます。(土江)

★手数料が変更になりました

平成26年4月1日の消費税率引き上げにより検査手数料が変更になりました。

1 家畜伝染病予防法第5条に基づく検査(5条検査)

検査項目	変更前	変更後
ヨーネ病スクリーニング検査	700円	710円
馬伝染性貧血検査	1,200円	1,210円

2 上記以外の家畜の衛生検査

検査項目	変更前	変更後
血清学的検査 5条検査以外のヨーネ病スクリーニング検査 牛白血病、オーエスキー病等の抗体検査	700円	720円
細菌培養検査 サルモネラ、キャンピロバクター等	490円	500円
精液検査	1,210円	1,240円

結核病、ブルセラ病検査の手数料(240円)は変更ありません。

(矢田)

今年度もよろしくお願いたします！

